

第 1 回理事会議事録

財団法人 神奈川県スキ - 連盟

- 1 . 日 時 平成 1 2 年 6 月 2 1 日 (水) 1 9 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0
- 2 . 場 所 神奈川県社会福祉会館 2 階 第 2 会議室
- 3 . 出 席 理 事 会 長 : 河野 洋平、副会長 : 廣瀬 稔、片岡 春夫、小林 幹夫、
専務理事 : 山田 隆、常務理事 : 片 忠夫、水島三千夫、三塚 康雄、
勝又 敬夫、
理 事 : 越前谷芳隆、早川 博基、平沢 幸一、桎 一成、上田 英之、
本田 衛義、渡辺 三郎、山本 英雄、菊池 勇二、小山 正治、
工藤 政蔵、三井田俊彦、菊池富士夫 (現理事数 2 2 名)
うち委任 : 河野 洋平、廣瀬 稔、水島三千夫、小山 正治、三井田俊彦
(5 名)

出 席 監 事 井駒 利一、岩崎 義隆

出 席 参 与 なし

- 4 . 議 長 選 出 山田専務理事を指名
- 5 . 議事録署名人選出 平沢理事、本田理事を選出
- 6 . 書 記 金谷 一雄広報委員を指名
- 7 . 議 事

1) 教育本部関係

(1) 報告事項

三塚教育本部長から、該当がなかったとの報告があった。

(2) 審議事項

平成 1 3 年度教育本部事業計画 (案) について

三塚教育本部長から、平成 1 3 年度教育本部事業計画 (案) について、新規事業ならびに回数が増えた事業について (レベルアップ講習会、パトロール養成講習会、専門委員教化合宿) 趣旨説明を行い、はかったところ承認された。

S A K 教育本部専門委員候補者推薦について

表記の件につき、各協会に依頼していた教育本部専門委員候補推薦者が、現在 6 8 名の専門委員候補者が選出され、S A K 専門委員としてはかったところ承認された。

S A J 教育本部専門員、ブロック技術員候補推薦について

三塚教育本部長より S A J 専門員、ブロック技術員の推薦については、次回理事会でと、はかったところ、この件につき今月末締め切りの旨の電話連絡が山田専務より報告、これを受け三塚教育本部長が、4 期以上のブロック技術員から専門員、ブロック技術員は 4 0 名を推薦したい旨はかったところ、了承された。

S A K 教育本部ユニフォームの新調について

三塚教育本部長より県連のユニフォームも 3 期がすぎ、ユニフォーム作成委員会より新しいユニフォームが提案され教育本部の専門員全員に着用したい旨はかったところ、承認された。

山田専務から、総務本部、競技本部もユニフォームを着用してもらいたい旨要望され了承された。

上田理事からオプションを含めて公報したい旨の意見が出され了承された。

(3)その他

クラウンプライズ・テクニカルプライズの検定にていて

三塚教育本部長より従来指導員会が実施していた表記検定を来期からクラブ、協会で実施できる旨ＳＡＪより話があり、マニュアル的なものを作り実施する旨はかったところ了承された。

２）競技本部関係

（１）報告事項

勝又競技本部長から、該当がなかったとの報告があった。

（２）審議事項

平成１２年度競技本部事業計画（案）について

勝又競技本部長から平成１２年度競技本部事業計画（案）について、趣旨説明があり、特に「歩くスキー兼クロスカントリー級別技能テスト」行事では指導資格者を、「合宿関係」では全国平均レベルに近づき、向上させるための合宿を考えている旨はかったところ承認された。

ＳＡＪ専門員推薦依頼について

菊池（富）理事から、ＳＡＪ専門員のフリースタイルで前専門委員を推薦してくれるように依頼され、推薦する旨はかったところ、ＳＡＪ推薦のルールは、協会の推薦と県連の承認が必要、審議した結果この件に関して常務会に一任することで了承され、その他のＳＡＪ専門委員推薦者については、協会に協力を願うことでペンディングとすることで了承した。

３）総務本部関係

（１）報告事項

登録関係について

証理事から、次の登録につき報告があり了承された。

ア 団体登録数

イ ＳＡＪ会員数

ウ 各種級別テスト

エ ＩＤ登録

評議員会のスケジュールと当日の担務について

平沢理事より評議員会の資料作成スケジュールについて説明がされ、６月２６日に最終校正、印刷所に提出、発送は７月１５日ごろ、正誤表は当日までを予定。当日の担務については後日総務本部会で担務を決めたい、当日の式次第について第１号議案、第２号議案、第３号議案（役員の選出）の後、第２回目の理事会を開催し、担務を決め、第４議案で新組織の発表し、議長解任、閉会のことばで行きたいと報告され了承された。

基本財産の分散について

上田理事より、基本財産の６千万円の定期が５月末に解約になり、専務と相談した結果、横浜銀行２千万円、住友銀行２千万円、第一勧銀２千万円、東京三菱２千万円、富士１千万円郵便貯金１千万円、総額１億円の基本財産を分散した旨はかったところ了承された。

山田専務から、将来のペイオフを見据えてリスクの分散をはかりたい。銀行が統合される中現状では多くの銀行に分散して行きたい旨の報告がされた。

決算書について

上田理事より資料に沿って説明、収入の部、基本財産運用の予算上７４万円を計上しているが実績１６８，８００円、会計上、６月２日６千万円の定期利息の１，２７４，３０２円は、

未収として立て替えるということで考えている。

収入の部、会費、事業費、補助金、広告料、特定預金については予算上、250万円としているが、前期の繰越金の中に収入として含まれ、両立ちになり、前期の実績として上げていない。

収入の実績は49,658,283円。

支出について、事業費40,569,485円、管理費9,119,249円、固定資産2,026,921円、特定預金858,600円となり、当期収入の差額が、—2,915,972円の収支バランスになる旨の報告があった。

山田専務より個々の事業、教育本部、競技本部、総務本部の収支は、間違いがないことで、監査会を受けているとの報告があった。が繰越金の中に基本財産まで入れ、実際に動いている金額より多い数字での繰越金を計上してきた。現在の財団認可の財源が3億と考えると、基本財産を増やしていく方向にあり、今期から実際に使う金額数百万円を残し、基本財産の積み増し、70周年の積立、事務所修繕費に分けて、繰越金を下げて行きたい旨の提案をされ、はかったところ

六百円程度の積立金、基本財産の目標額として年間三百万円の積立金で了承された。

予算書について

上田理事より資料に沿って趣旨説明され、指導員の登録費及び研修会費の前納金が終了し、増収が見込まれることの報告があり、了承された。

山田専務より収入を見ながら大幅に増える状況ならば、評議員会で強化事業にもっと使わせて頂きたいと考えていること旨の報告があった。

県連事務所の鍵の返却について

越前谷理事より第一回目であるため旧理事の鍵返却についての報告があり、了承された。

(2) 審議事項

事務員の時給について

上田理事より第一回目であり、事務員の時給、半期毎に賞与を出していた。神奈川県的事务員時給を調査した結果、県連の特殊事情を踏まえ、昨年同様で行きたい旨はかったところ承認された。

(3) その他

ハンデキャップ委員会について

山田専務理事から、ハンデキャップ委員会について質問があり、越前谷理事から明日(6/22)準備会を開催し次回の理事会に、専門委員会として発足になる旨の回答があった。

山田専務から現在行われている行事の中で、ハンデキャップ委員会から選手を出したいとの要望があった場合、常務理事の所へ声が届くよう拝領されたい旨の依頼があった。

4) 監査報告

(1) 報告事項

監査報告について

山田専務から、監査報告が出ているので報告内容について監事に報告依頼をした、井駒監事から監査報告がされた。

イ) 各行事報告

ロ) 障害スポーツとしてのスキーについて

ハ)各本部についての所見並びに提言について

5)その他(山田専務から)

(1)その他

会議について

評議員会後の理事会は、従来水曜日に開催して来たが、月曜日に開催を行いたい。基本的に理事会は毎月行いたい。常務会は適宜必要に応じて開催していく形にして理事会の回数を多くしたいと考えている。シーズン中の忙しい時は、開催しないということもある旨の報告があり了承された。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成12年 月 日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印

